

【クリエイターズ・プロデューサーコメント】

演出 原田優一

声を大にして言います。「オリジナルミュージカル」です。昨今、たくさんの日本産ミュージカルがありますが、まだまだ日本で日本人の手によって全てが作られるミュージカルは世界を見渡せばごくごく少ないものです。やはりゼロから生み出すのはとても難しいことだと思いますが、今回新たな作品を作るにあたってとても楽しみなクリエイターとキャストの皆様が集まってくれました。

街のシンボルでもあるデパートで働く人々と、訪れる人々。たくさんの想いが交錯する暖かくて、ちょっぴり笑える人間模様を楽しんでいただければ幸いです。

そして、実際のデパートの中で我々が作り出すデパートの世界を繰り広げるという新たな企画に、全面的なご協力を賜っております日本橋三越様に感謝申し上げます。

脚本 登米裕一

日本ではミュージカル作品は海外から輸入する事が多いのですが、本当は MADE IN JAPAN の作品がもっと増えればいいのになと思っています。そして輸出するくらいになればこの国で幸せになる演劇人がもっとも増えるのになとも思っています。

この「デパート！」と言う作品がいつか海外で上演される事を夢見つつ、それくらいの気概で挑みましたが、それはまた別のお話。

まずはこの初演が皆さまに愛されることを心から願っています。

見守ってやってください。ご来場お待ちしております。

音楽 伊藤靖浩

小さな頃、家族で行くデパートが大好きでした。エスカレーターで登っていくと、各階ごとに色彩が豊かで、色々な物があって。上の階まで登っていくと、ご飯を食べながら一日を振り返れます。まるで、大きなおもちゃ箱のようだなと思っていました。

オリジナルミュージカル「デパート」にも、様々な人物や、シーンが次々とあらわれます。生演奏にのせて、おもちゃ箱をひっくり返したような音楽をお届けしようと思います。様々なジャンルの作曲をしました。楽しんで聞いていただければ幸いです。

プロデューサー 坂紀史

優れた海外のミュージカルが通年上演される日本において、原作も無いオリジナルミュージカルは規模も小さく、厳しい状況にあると思っています。それでも敢えてオリジナルにこだわったのは、いずれブロードウェイやロンドンのように、日本で作られた作品が海外に輸出され、上演できるような未来を夢見ているからです。日本にも素晴らしい才能のクリエイター、スタッフ、キャストがおります。本作がすぐに海外で上演されるようになるかという、そんなに甘くはありませんが、繰り返し上演することによりいつか夢が現実となるよう挑戦していきたいと思っています。そういう意味で、今回どこの国にもあるデパートでどこのデパートでも直面している出来事やトラブルをコメディタッチの群像劇スタイルでミュージカル化しました。演劇ファンのみならず、デパートが好きという皆様にも劇場にお越しいただければ嬉しいです。ご期待ください。

【キャストコメント】(50音順)



出雲綾 (ミセスオズマン役) ※オズマン氏の夫人。上品な奥様。

夏は涼しく冬は暖かく。
季節ごとの華やかな飾り付けに、流行りの服を着たスタイリッシュなマネキン。
地下の美味しそうな匂いに心もお腹も満たされる。
ワクワクする居心地最高の場所。
そう！それはデパート！
ミュージカル『デパート』では、どんなストーリーが展開される

のでしょうか。

私の役はミセスオズマン。オズマン役、浜畑賢吉さんの奥さんでデパートのお得意様夫婦。自然なお芝居、役作りを目指しつつ「デパートでの幸せ感…“愛”」を表現したいと思っています。



太田基裕 (モリス役) ※スクエアデパート社長の御曹司。現場を知るためにお得意様係として働いている。

デパートという場所に存在するドラマ。
僕は、デパートの社長の跡継ぎ息子で、まだまだ自信のない未熟なモリスという人間を演じさせていただきます。
様々な境遇に置かれた人物がそれぞれの想いで、生きている。
強がったり、弱がったり、足掻いたり。

それでもやはり最後は周りの人によって救われ、笑顔になる。

とてもハートフルなドラマです。

デパートに行きたくなるような、そんな舞台になるといいと思います。

ぜひたくさんの方に気軽にご観劇していただきたいです。

たくさんのお来店お待ちしております。



岡田亮輔 (イギー役) ※警備会社に入ったら、たまたまスクエアデパートの関連会社だった。俳優志望のお調子者でどちらかというと、デパート不要論者。

ミュージカル「デパート！」に出演させていただきます岡田亮輔です。今回、老舗のデパートが舞台という事で、新しいミュージカルになりそうだなとワクワクしています！

僕自身もデパートは子供の頃から今に至るまでずっと利用しているので、その慣れ親しんでいる場所が舞台になる事がとても嬉しくかつ斬新だなと思いました。

沢山の方々が利用する老舗デパートで起こる人情味溢れる作品になると聞いているので、今から楽しみで仕方ありません。

しかも三越劇場で上映される老舗デパートのミュージカル www こんなぴったりの劇場はありません！！

新しいデパートの出会いを楽しみにして下さい！皆様のお越しをお待ちしております。



シルビア・Grab (ビビ役) ※伝統と格式を重んじるデパートのマネージャー。シングルマザー。

デパートに行けばあらゆるものが揃っていて、欲しいものはなんでもある。

そしてそれは大切な人への贈り物だったり、自分へのご褒美だったり時には見て歩くだけだったり、訪れる理由も人それぞれでいろいろ。

開店直後に、ピリっとした空気の中で「いらっしゃいませ」と深々とお辞儀をされる中に足を踏み入れる勇気もちょっぴりいる。そのデパートに長く務めてそれなりに責務を果たしているビビ。若い子なんかには負けないわ！と踏ん張りつつも時間は流れてゆく。

家庭では母親としての自分。思うようにならないそれぞれの場所で、それでもがんばる！乗り越えてゆけば笑顔になれる！

お客様の笑顔が嬉しいからやめられない！そんな「デパート」にて、今日も笑顔でお待ちしています～！



染谷洸太 (ピート役※wキャスト) ※地方の刃物職人。父親が急逝して継いだばかり。父の他界をファーガソンに報告するためにやってきた。

とあるデパートの中で起こる奇跡。

魅力あふれる登場人物の人生が絡み合い、素敵な化学反応を生み出していく…台本を読んでいるうちにどんどん引き込まれていきました。

ピート役をやらせて頂きます染谷洸太です。

ピートはそのデパートに刃物を卸している刃物職人の息子で、自らも父親から技を学び修行を積んできた青年です。

ある理由でこのデパートを訪れる人物の1人でもあります。

このデパートで彼にどんな出会いが待っているのか…

僕は一冊のアルバムの様な作品だと思います。

登場人物の人生の一瞬を切り取り、思いを馳せつつもそれと同時に他の登場人物の人生も切り取り、それらが一冊のアルバムになったような贅沢な作品です。

そして何より、見終わった後に『デパートに行ってみたいな…あ！ここがデパートだった！笑（日本橋三越）帰りに寄って帰ろー！』と思わせてくれる愛溢れる笑いと感動のヒ

ユーマンドラマです。
是非素敵な奇跡を観にいらしてください。
皆様にお会いできるのを楽しみにしております。



橋本真一（ピート役※wキャスト） ※地方の刃物職人。父親が急逝して継いだばかり。父の他界をファーガソンに報告するためにやってきた。

去年出演したオフブロードウェイミュージカル「bare」。この作品をきっかけに、ミュージカル作品に関わる機会が増え、歌う事への想いがさらに強くなりました。その「bare」の演出が今作の演出家である原田優一さんでした。僕は原田さんの作品作りには絶大な信頼を置いています。今回も原田さんを信じ、真っ直ぐに作品に向き合っていきたいと思います。

それぞれの役が苦しみや葛藤を胸に抱きながら生きている姿は、形を変えてたくさんの方の悩みに当てはまるものだと思います。観に来てくださった方々

の心の琴線に触れ、心の活力になるような作品に出来るよう、繊細に役を作り演じたいと思います。



畠中洋（ファーガソン/トト役※2役） ※ファーガソンはスクエアデパートの現社長。経営は思わしくないのと、息子の成長に日々頭を悩ませている。トトはモリスしか見えない創業者の幽霊。

デパートで働く人々の悲喜こもごもを描いた新作ミュージカルです。私はデパートの社長ファーガソンと、デパートの創業者、幽霊として登場するトトの2役をやらせて頂きます。息子であるモリスに仕事のノウハウを叩き込み、早く一人前の事業者として自立して欲しいと願っているんですが、モリスが頼りなく、なかなか思うようにならないジレンマと戦う日々のファーガソン。そんな様子を見ながら、モリスにしか見えない設定で、ちょいちょい登場する創業者トト。両者ともデパートや家族への溢れんばかりの愛に満ち溢れています。話がどう展開し、どんな方向に向かっていくのか、まだまだ現段階では未知数ですが、原田優一君演出の元、実力のある共演者の方々に囲まれ、素敵な作品になる事間違いなし！と信じております。乞うご期待です！



浜畑賢吉（オズマン役） ※デパートのお得意様。少々横柄だが、目利き
は一流。

デパートに関わる店員は勿論、親子、夫婦、恋人同士、役者、職
人など、それぞれの状況が織り重なって次々とドラマが生まれて
くるのです。

単一店舗にはないデパートならではの複雑な歴史や人間関係。登
場人物が大団円に向かって少しずつ変化していくプロセスも楽し

いですよ。

この劇の視線で眺めたらデパートそのものが人生のドラマになりそうです。ぜひデパート
にお出かけください。



前島亜美（ナミ役） ※ビビの部下として働く女性。有名なスクエアデバ
ートに入社出来たのは嬉しかったが、部下の話を聞こうとしないビビに嫌気
がさしている。

新作オリジナルミュージカルという事で、演出の原田さんのもと
錚々たるキャストの皆様とご一緒できる事を幸せに思います。
様々なものを持ち寄る人達が出会う場所のデパート、歌やお芝居
を通して皆さんにお伝えできるものがありますよう頑張ります。

三越劇場に立てる日がとても楽しみです。



愛加あゆ（マリ役） ※インフォメーション係&エレベーターガール。デ
パート内きっての情報通で、ゴシップも大好き。

今回、マリ役をさせて頂く愛加あゆです。

マリはスクエアデパートのエレベーターガールです。PV撮影の際
は実際にエレベーターを操作させて頂きました。特殊な操作方法
で役作りの勉強になったと共に、気分はもうエレベーターガール
です！

デパートという誰もが行ったことのある場所で繰り広げられるストーリーは、観終わった
後に心がホッコリと温くなる事と思います。

ミュージカルという事で音楽もとても楽しみです♪

是非『デパート』へお越し下さい♪お客様のお越しを心よりお待ちしております！